

宮城県内におけるガンカモ類生息調査の結果について（確定値）

（令和6年11月7日実施）

1 生息数及び構成比

種類	羽数：羽	構成比：%	備考
ガン類	173,182	82.2%	過去 9 番目
ハクチョウ類	6,884	3.3%	過去 4 番目
カモ類	30,480	14.5%	過去 26 番目
計	210,546	100.0%	過去 7 番目

※11月調査は昭和47年度から実施しており、今年度は53回目となる。

2 前年同期との比較

単位：羽

調査月日	ガン類	ハクチョウ類	カモ類	計
令和6年11月7日	173,182	6,884	30,480	210,546
令和5年11月9日	191,067	7,094	45,182	243,343
増減	▲ 17,885	▲ 210	▲ 14,702	▲ 32,797

3 主な確認地

(1) ガン類

地点名	市町村	羽数	昨年の羽数
伊豆沼・内沼	(栗原市・登米市)	112,824 羽	102,660 羽
蕪栗沼	(大崎市)	59,727 羽	85,443 羽
迫川-二ツ屋橋付近	(登米市)	300 羽	450 羽

(2) ハクチョウ類

地点名	市町村	羽数	昨年の羽数
伊豆沼・内沼	(栗原市・登米市)	989 羽	1,072 羽
直沢大溜池	(大和町)	631 羽	246 羽
迫川-豊里町上谷地	(登米市)	370 羽	150 羽

(3) カモ類

地点名	市町村	羽数	昨年の羽数
大沼	(仙台市)	3,726 羽	4,693 羽
蕪栗沼	(大崎市)	3,542 羽	16,431 羽
伊豆沼・内沼	(栗原市・登米市)	1,428 羽	1,663 羽

4 調査箇所数

県内のガン、ハクチョウ、カモ等の飛来地 512 か所

5 調査人員

県職員、県自然保護員、蒲生を守る会及び日本雁を保護する会等 107 人

6 その他

本調査の内容については、宮城県自然保護課ホームページで確認できます。
 HPアドレス <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sizenhogo/gankamo-top.html>

7 飛来状況

ガンカモ類の秋の渡りは寒さの強まりとともにすすむ。平年並みの飛来状況と考えられるが、今年の秋は暖かい日が多く、宮城県より北の地域で留まっていて、まだ南下していない群れがあるため、全体として昨年よりも少し減少したと考えられる。